

質問	ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」を他剤（液剤）と配合した後の安定性は？						
回答	<p>ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」について、他剤（右表液剤）との配合変化試験を実施した結果、外観（色調及び臭い）では、配合直後から 24 時間後までに変化はありませんでした。</p> <p>また、残存率（配合直後のラコサミド含量の平均値を 100.0%としたときの含量）が測定できた各配合医薬品において 24 時間後まで 99.9～100.3%の範囲でした。</p> <p>再分散性は、各配合医薬品において配合直後から 24 時間後まで 1 回の容器の転倒で良好に分散することを確認しました。</p> <p>pH は、配合直後から 24 時間後までフェノバルエリキシル 0.4%は 4.95～5.02、デパケンシロップ 5%は 6.97～7.10、ガバペンシロップ 5%は 6.55～6.84、ザロンチンシロップ 5%は 5.81～5.89 の範囲でした。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1094 152 1487 206">配合医薬品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1094 206 1487 259">フェノバルエリキシル 0.4%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1094 259 1487 313">デパケンシロップ 5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1094 313 1487 367">ガバペンシロップ 5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1094 367 1487 409">ザロンチンシロップ 5%</td> </tr> </tbody> </table>	配合医薬品名	フェノバルエリキシル 0.4%	デパケンシロップ 5%	ガバペンシロップ 5%	ザロンチンシロップ 5%
配合医薬品名							
フェノバルエリキシル 0.4%							
デパケンシロップ 5%							
ガバペンシロップ 5%							
ザロンチンシロップ 5%							
参考資料	【配合変化試験に関する資料②】_ラコサミドドライシロップ 10%「ケミファ」						